

▼東海

「音風景の会」

列島縦断・信州長野県の巻

SPレコード「コンサート」!

成田徹男(CBC)

アナログ同好会、「音風景の会」協力、SPレコードコンサートは、毎奇数月、最終日曜日、午後1時30分より、尾張旭市中央公民館で開催しています。

第83回は、7月31日に予定していましたが、主唱者の加藤正義解説者が体調不良で延期となつてしまいました。

加藤正義氏解説書より

『長野県は、北信、中信、南信と領土が広く、そそり立つアルプスから、千曲川、梓川が美しき流れに癒されています。』

四季を通して歌の多いこと、それだけに詩情が豊かであり、民謡から流行歌、唱歌に童謡と数多く親しまれています。

中仙道は、江戸時代の皇族と幕府の悲運の政略結婚に初冬の宿場町、苦難の旅を強いられ、た和宮は、家茂の亡きあと静寛

院になり、髪をおろして降嫁となり、寂庵暮らしになった。

その後も体調を崩して31歳の若さで亡くなり、二人は増上寺に祀られている。

長野県出身の人たちは、中山晋平・高野辰之・海沼実・藤森秀夫・山上武夫・高木東六・草川信』

再生予定レコードのタイトルは「信濃須坂小唄」「中野小唄」「木曾節」「千曲小唄」「諏訪小唄」「岡谷小唄」「伊那節」「安曇節」「天竜下れば」「千曲川旅情の歌」「信濃の国」「春が来た」「一茶さん」「千曲流れて」など大正後期から昭和初期の59曲が選曲されています。

この選曲された全曲をデジタル化、CD3枚に起こしました。加藤正義さんの解説と歌詞が全曲添付されています。

興味のある方には対応したいと思しますので、Eメールまたは、携帯のショートメールでお知らせください。

Email:ja2tnj@zm.commu-fa.jp
090-8422-3573

